

京都府立農芸高校で2日間にわたり出前講座

2級モデルや擁壁の組立作業を体験

関西鉄筋工業協同組合（岩田正吾理事長）は9月19日と26日の二日間、京都府南丹市の京都府立農芸高校で出前講座を開催しました。同校での開催は昨年に続いて2回目となります。今回の二日間の講座では、いずれも環境緑地科農業土木コースで学ぶ2年生12人を対象に行われました。

このうち、19日の講座ではDVDによる鉄筋の役割等を紹介した座学が続いて、関西圧接業協同組合による圧接作業の実演見学と体験、そして2級検定試験モデルの鉄筋組立作業を体験しました。また、26日は授業の実習の工程に合わせて逆T型擁壁の鉄筋組立作業を行いました。

両日とも生徒たちはプロの職人の指導を受けながら、慣れない手つきでハッカーを使い結束作業に取り組んでいました。同校の中井順市校長は「プロの職人さんの指導を受けて農業土木の技術を身に付け、将来社会に貢献できる人材になってもらえれば」と期待を寄せていました。

組合からの参加者は次のとおり。

○ 9月19日（木）

- ・ 岩田理事長、田中副理事長、又野さん（又野鋼業）、今村さん（吉岡工業）、森山さん（城東鉄筋）、恵谷さん（恵谷鉄筋）、田中さん（兼松工業）

○ 9月26日（木）

- ・ 田中副理事長、鎌田さん（鎌田鉄筋工業）、富田さん（富田興業）、辻本さん（辻本鉄筋工業）、山村さん（関西スチールフォーム）

講座状況

